

トステム株式会社 NCVオペラ コーナー窓GCF(テラス)タイプ 組立て・取付け説明書

【組立て方法】

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

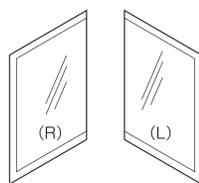
▲注意…組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 8mmガラスを使用してください。8mmより薄いガラスを使用される場合は、サッシH及びサッシWを小さくしないと、ガラス破損によりケガをするおそれがありますので、必ず商品問合せ窓口にて確認の上、使用してください。
- 突合わせ部のガラスのエッジは、室内側及び室外側から人体が接触してもケガをしないよう、必ず面取りしてください。(詳細図参照)
- 突合わせ部のガラス同士のすき間は、コーキング材の接着強度を高めるため、5mmにしてください。すき間が小さすぎると、ガラスが風圧等でたわんだ際にシーリングが切れ、雨漏れやガラス破損の原因になります。
- 枠の組立ての際は、雨漏れの原因にならないように、ねじ止め後の緩みやガタツキの確認を必ず行ってください。
- ガラス突合わせ部及び上下枠コーナブロックとガラスとのすき間は、別途シーリング処理してください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 N \cdot m$ { $25 \pm 5 kgf \cdot cm$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

■組合せタイプ

●GCFタイプ(R)+GCFタイプ(L)



※GCFタイプは入隅コーナーFIX窓を表します。
※()内は室内側から見た方向です。(R)=右、(L)=左、

■ねじ一覧表

図中の①～④はねじの種類を表します。

①	②	③	④
バインドタッピンねじ φ4×20	縦枠上部補強裏板	ナベタッピンねじ φ4×90	フッシュボタン

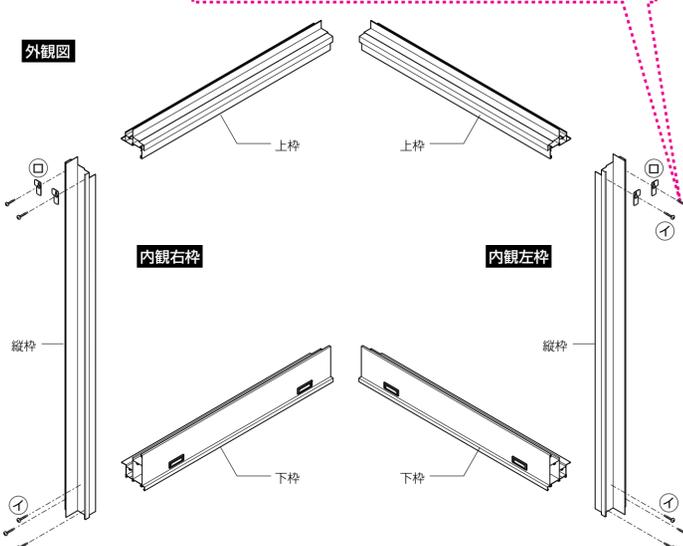
■組立て順序

1 枠の組立て

- ①GCFタイプの(R)の枠(内観右枠)を組み立てます。
- ②GCFタイプの(L)の枠(内観左枠)を組み立てます。

▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 N \cdot m$ { $25 \pm 5 kgf \cdot cm$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

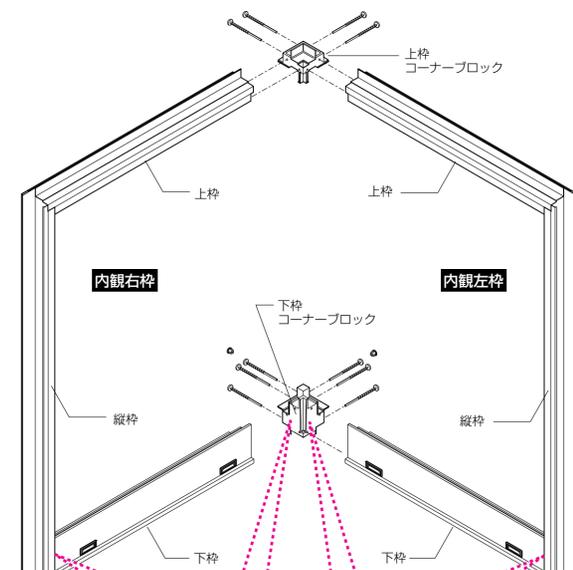


▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 N \cdot m$ { $25 \pm 5 kgf \cdot cm$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

2 左枠と右枠の固定

- 左右の枠をコーナブロックで固定します。
※コーナブロックの破損を防ぐため、枠を運搬する際は、左右の枠を別々にし、現場で一体に組み立ててください。
※必ず左・右枠を組み立てた後に、コーナブロックで連結してください。

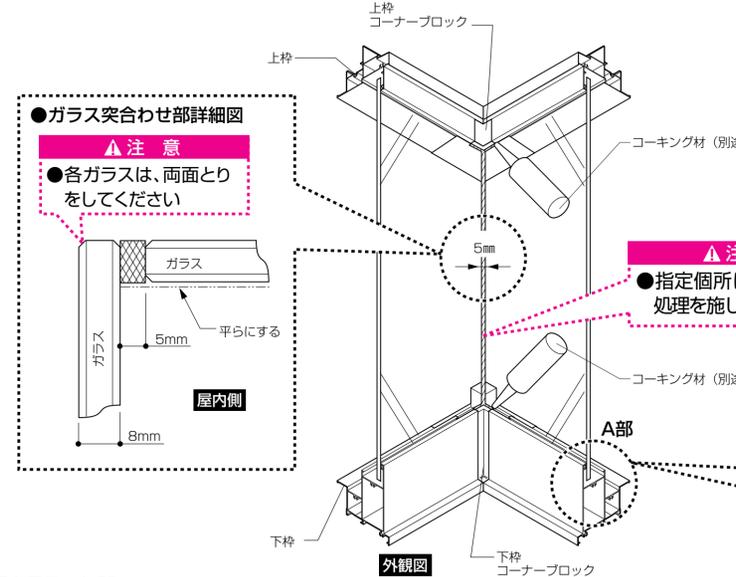
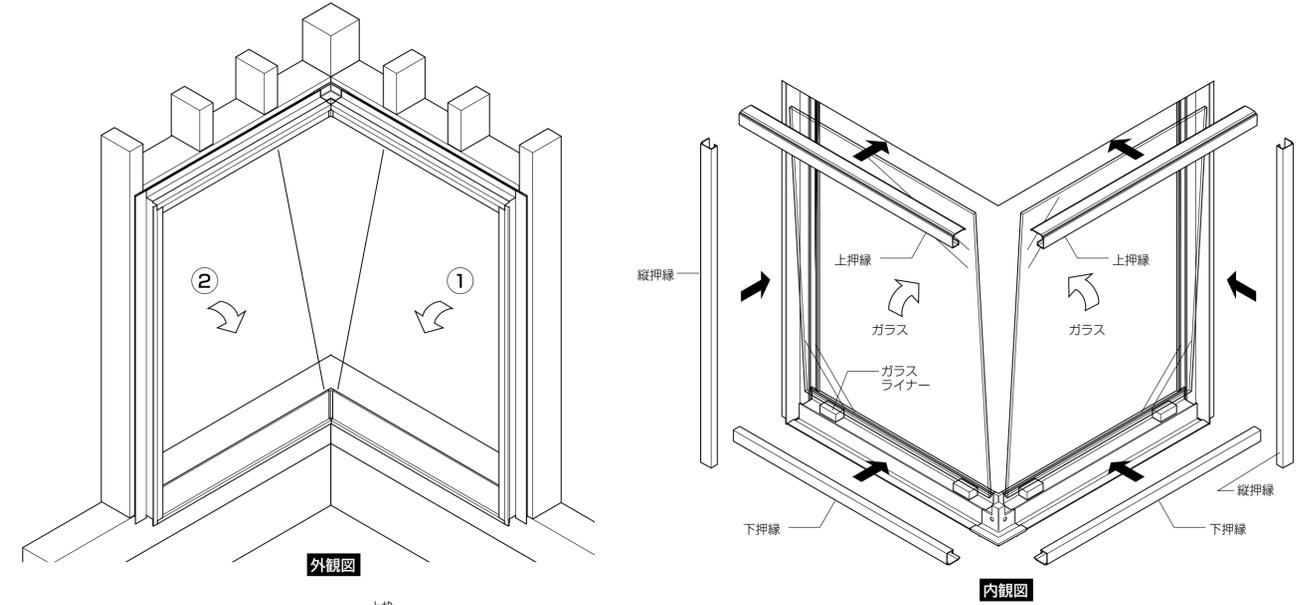


▲注意

●縦枠及び下枠コーナブロックのコーキングシーラーは下枠と位置を合わせ、はみ出るように組み立ててください。

■FIX部のガラス入れ

- ※FIX部のガラスは、枠を躯体に固定した後、入れてください。
- ①左右枠のうち、長手のガラスから入れます。室内側から、下枠にガラスを建て、その状態から起こしてください。
- ②ガラスが倒れてこないように、縦押縁、上押縁、下押縁の順で入れ、後付けビードを少し入れて仮固定します。
- ③もう一方のガラスも同じ要領で入れます。
- ④ガラス突合わせ部のすき間は、5mmにします。上下のすき間が同じにならない場合や、ころびのある場合は、ガラスライナー部にカイ物を入れ、突合わせ面を平らにしてください。
- ⑤ガラス調整をした後は、後付けビードをサッシの全周に入れて、ガラスを確実に固定してください。
- ⑥ガラス突合わせ部が、油や水滴、ゴミ等で汚れているとシーリングが剥離する原因になりますので、処理面の汚れをきれいにふき取ります。
- ⑦シーリング箇所周辺を、テープでマスキングし、シリコンシーラント(透明)で処理します。終了後、テープをはがし、そのまま一昼夜養生してください。
- ⑧上下枠コーナブロックとガラスの屋外側との溝は、シーリングでふさいでください。



●ガラス突合わせ部詳細図

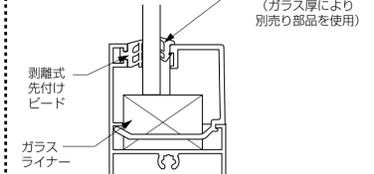
▲注意

●各ガラスは、両面とりをしてください

▲注意

●指定個所にシーリング処理を施してください。

■A部詳細



●別売の後付けビード

使用ガラス厚	使用ビード
5mm	5mm用と指定してください。
6mm	6mm用と指定してください。
6.8mm	6.8mm用と指定してください。
8mm	先に先付けビードを剥離してから6.8mm用を使用してください。

■ガラス寸法表

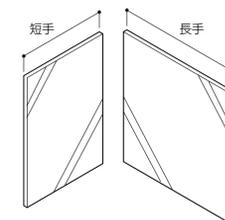
●H寸法

姿図	単位(mm)		
	H18	H20	H22
	1739	1939	2139

●W寸法

姿図	単位(mm)	
	W036	W074
CFタイプ(L)	249	703
	262	716
CFタイプ(R)	249	703
	262	716

※FIX部のW寸法は、突合わせのため左・右の窓いずれか一方を13mm短くします。FIXガラス寸法表中、上段が短手下段が長手になっています。下図のように、長手・短手の組合わせて選んで固定します。
※コーナブロックの破損を防ぐため、枠を運搬する際は、左右の枠を別々にし、現場で一体に組み立ててください。



【取付け方法】

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

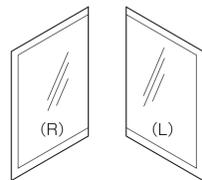
▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- ガラス突合わせ部及び上下枠コーナブロックとガラスとのすき間は、別途シーリング処理してください。
- 枠の組立ての際は、雨漏れの原因にならないように、ねじ止め後の緩みやガタツキの確認を必ず行ってください。
- ガラスは、8mmガラスを使用してください。8mmより薄いガラスを使用される場合は、サッシH及びサッシWを小さくしないと、ガラス破損によりケガをするおそれがありますので、必ず商品問合せ窓口にて確認の上、使用してください。
- 突合わせ部のガラスのエッジは、室内側及び室外側から人体が接触してもケガをしないように、必ず面取り処理を行ってください。（詳細図参照）
- 突合わせ部のガラスどうしのすき間は、コーキング材の接着強度を高めるため、5mmにしてください。すき間が小さすぎると、ガラスが風圧等でたわんだ際にシーリングが切れ、雨漏れやガラス破損の原因になります。
- 雨仕舞をより確実にするために、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(有償)を張ってください。

■組合せタイプ

●GCFタイプ(R)+GCFタイプ(L)



※GCFタイプは入隅コーナーFIX窓を表します。
※()内は室内側から見た方向です。
(R)=右、(L)=左、

■ねじ一覧表

図中の①～④はねじの種類を表します。

①	②	③	④
ナベタッピンねじ φ4×90	フッシュボタン	ナベタッピン ねじφ4×35	皿木ねじ φ3.5×20

■取付け順序

1 枠の組立て

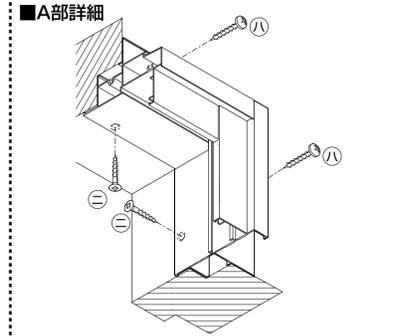
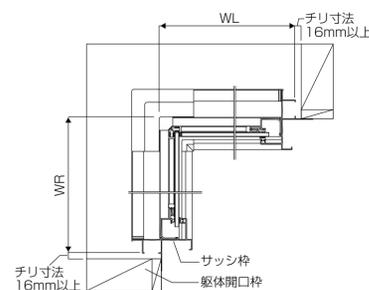
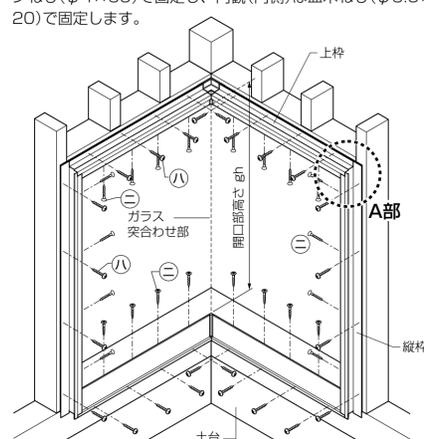
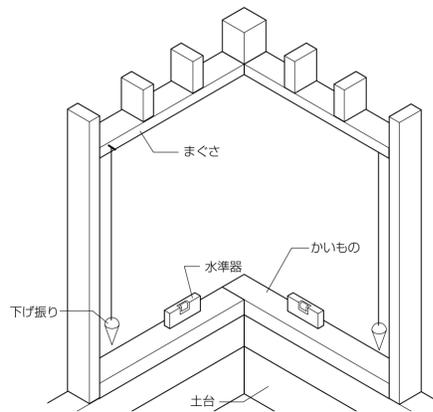
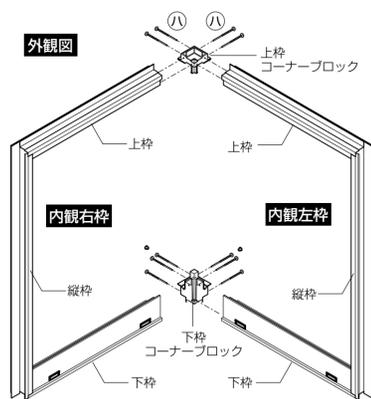
●コーナーブロックで左右の枠を一体化します。
※左・右枠の組立ては、組立て説明書をご覧ください。
※必ず、左・右枠を組み立てた後、躯体に取り付けます。

2 開口部の作り方

※躯体開口部は、サッシ基本寸法+チリ寸法16mm以上で作ってください。壁厚を調整する場合、サッシ基本寸法(WL,WR)及びチリ寸法は、調整した面から確保してください。（下図参照）
①取付け面を平らにします。
②左右の土台を同じ高さで水平にします。
③コーナー部の直角を正確に出します。

3 枠の取付け

①一体化に組み立てた枠を窓台にのせ、仮止めします。
②左・右縦枠の鉛直と下枠の水平を出します。
③ガラス突合わせ部分の開口高さ(gh)を、縦枠部分と同じに調整した後、枠全体を固定します。
※開口高さ(gh)が正確でないとガラス入れができなくなります。
※サッシ枠の水平・垂直を出しながら外観(外側)は、ナベタッピンねじ(φ4×35)で固定し、内観(内側)は皿木ねじ(φ3.5×20)で固定します。



■FIX部のガラス入れ

- ※FIX部のガラスは、枠を躯体に固定した後、入れてください。
①左右枠のうち、長手のガラスから入れます。室内側から、下枠にガラスを建て、その状態から起こしてください。
②ガラスが倒れてこないように、縦押縁、上押縁、下押縁の順で入れ、後付けビードを少し入れて仮固定します。
③もう一方のガラスも同じ要領で入れます。
④ガラス突合わせ部のすき間は、5mmにします。上下のすき間が同じにならない場合や、ころびのある場合は、ガラスライナー部にカイ物を入れ、突合わせ面を平らにしてください。
⑤ガラス調整をした後は、後付けビードをサッシの全周に入れて、ガラスを確実に固定してください。
⑥ガラス突合わせ部が、油や水滴、ゴミ等で汚れているとシーリングが剥離する原因になりますので、処理面の汚れをきれいにふき取ります。
⑦シーリング箇所周辺を、テープでマスキングし、シリコンシーラント(透明)で処理します。終了後、テープをはがし、そのまま一昼夜養生してください。
⑧上下枠コーナブロックとガラスの屋外側との溝は、シーリングでふさいでください。

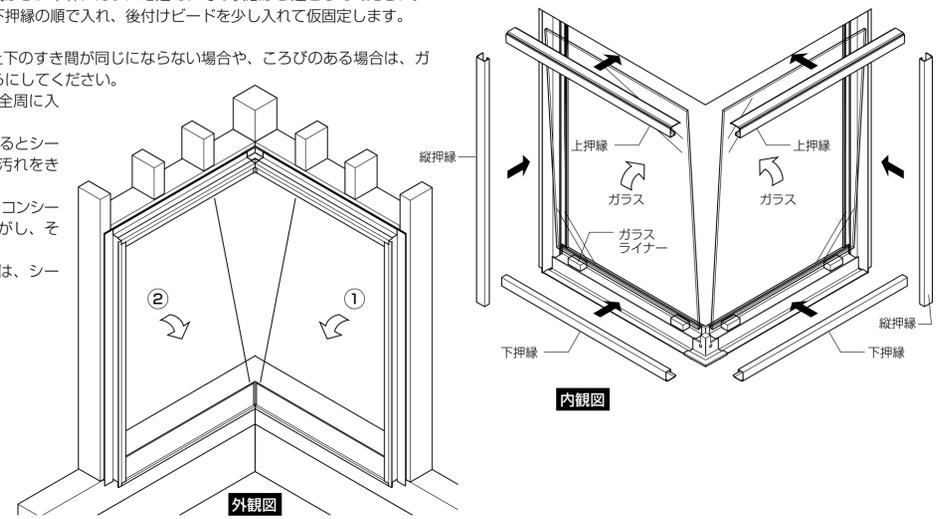
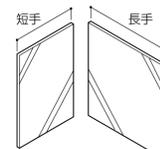
■ガラス寸法表

		単位(mm)		
●H寸法		H18	H20	H22
姿図				
		1739	1939	2139

●W寸法

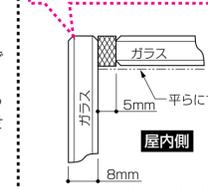
		単位(mm)	
●W寸法		W036	W074
姿図			
CFタイプ(L)		249	703
		262	716
CFタイプ(R)		249	703
		262	716

※FIX部のW寸法は、突合わせのため左・右の窓いすれか一方を13mm短くします。
FIXガラス寸法表中、上段が短手・下段が長手になっています。下図のように、長手・短手の組合せで選んで固定します。
※コーナーブロックの破損を防ぐため、枠を運搬する際は、左右の枠を別々にし、現場で一体化に組み立ててください。



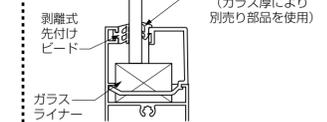
●ガラス突合わせ部詳細図

▲注意
●各ガラスは、両面とりをしてください



▲注意
●指定個所にシーリング処理を施してください。

■B部詳細

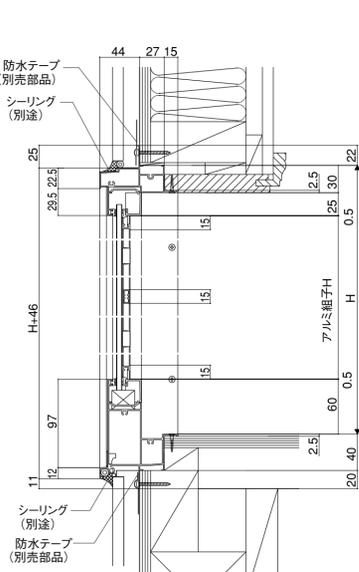


●別売の後付けビード

使用ガラス厚	使用ビード
5mm	5mm用と指定してください。
6mm	6mm用と指定してください。
6.8mm	6.8mm用と指定してください。
8mm	先に先付けビードを剥離してから6.8mm用を使用してください。

■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

